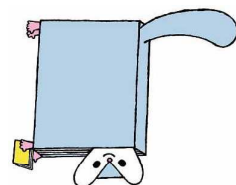


July Morning

2023. 7. 1
美幌町図書館長 竹花 史康

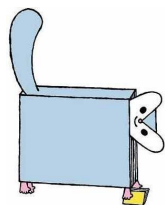
July Morning「七月の朝」は、イギリスのロックバンドUriah Heep(ユーライア・ヒープ)の楽曲です。3rdアルバム『対自核』(Look at Yourself, 1971)に収められています。



もう50年以上前の曲ですが、今でも7月になると聴きたくなります。それは、この曲がとても情緒的な美しいバラードだからです。1970年代、レッド・ツェッペリンやディープパープルと肩を並べるほどの人気がありました。残念ながら今は忘れられたバンドかもしれません。

しかしながら、「七月の朝」は、ロックファンの中では、レッドツェッペリンの名曲、「天国への階段」と同じくらい人気がありました。特に、詩の冒頭がステキです。

There I was on a July morning
looking for love



(僕は夜明けの美しい太陽の光りを浴び、
愛を探しはじめる)

「ユーライア・ヒープ」は、イギリスの文豪、ディケンズの代表作『デイヴィッド・コパフィールド』の登場人物の名です。この小説は、「世界の十大小説」の一つに選ばれています。

小説の中でユーライア・ヒープは、事務所の乗っ取りをたくらむ大悪人として描かれています。そのため、イギリスではよく知られた名前のようにです。

高校生のころ、ロックバンド、ユーライア・ヒープのファンとして、『デイヴィッド・コパフィールド』を手にしてみましたが、かなり長編のため途中で挫折してしまいました。

最近、歳のせいでしょうか、過去にできなかったことに再度挑戦してみたいくなるのです。

退職後は、『デイヴィッド・コパフィールド』を、今度こそ読破したいと思っています。